

3. 千葉保健医療圏の医療提供体制と医療需要の見通し

(1) 現在の千葉保健医療圏の主な公的医療施設

千葉保健医療圏（千葉市）には、千葉大学医学部附属病院、国立病院機構千葉医療センター、千葉県がんセンターなど、国及び地方自治体が設置した病院が12病院（千葉市桜木園は除く）あります。民間病院等は34病院を含め、46の病院が存在するなど比較的充実した医療体制となっています。

No	開設者	名 称	病 床 数	特 徴
1	市	千葉市立青葉病院	380床(一般314床、 精神60床、 感染症6床)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中急性期対応医療機関 ・急性心筋梗塞対応医療機関（急性期） ・糖尿病合併症治療医療機関 ・第二種感染症指定医療機関 ・成人・児童精神医療等
2	市	千葉市立海浜病院	301床（一般）	<ul style="list-style-type: none"> ・急性心筋梗塞対応医療機関（急性期） ・災害拠点病院 ・地域周産期母子医療センター ・地域小児センター
3	国	千葉医療センター	455床(一般410床、 精神45床)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・全県対応型脳卒中連携拠点病院 ・全県対応型急性心筋梗塞連携拠点 ・全県対応型糖尿病連携拠点病院
4	国	千葉東病院	470床(一般420床、 結核50床)	<ul style="list-style-type: none"> ・腎疾患、神経・筋疾患、呼吸器（結核）疾患などの専門的医療 ・全県対応型糖尿病連携拠点病院
5	国	下総精神医療センター	469床（精神）	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害、精神・結核合併症及び神経疾患等
6	国	放射線医学総合研究所重粒子医科学センター	100床（一般）	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの放射線治療、重粒子治療
7	国	千葉大学医学部附属病院	835床(一般775床、 精神60床)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定機能病院 ・全県対応型がん診療連携拠点病院 ・全県対応型脳卒中連携拠点病院 ・全県対応型リハビリテーション連携拠点病院 ・全県対応型急性心筋梗塞連携拠点 ・全県対応型救急医療拠点病院 ・全県対応型糖尿病連携拠点病院 ・全県対応型救急医療連携拠点病院 ・災害拠点病院（DMAT指定医療機関） ・全県対応型周産期医療連携拠点病院（総合周産期母子医療センター） ・全県対応型小児医療連携拠点病院
8	県	千葉県がんセンター	341床（一般）	<ul style="list-style-type: none"> ・全県対応型がん診療連携拠点病院
9	県	千葉県こども病院	203床（一般）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援病院 ・全県対応型小児医療連携拠点病院
10	県	千葉県救急医療センター	100床（一般）	<ul style="list-style-type: none"> ・全県対応型脳卒中連携拠点病院 ・全県対応型急性心筋梗塞連携拠点 ・全県対応型救急医療連携拠点病院 ・3次救急医療機関（救命救急センター） ・災害拠点病院（DMAT指定医療機関）

11	県	千葉県精神科 医療センター	50床（精神）	・精神科救急医療機関
12	県	千葉県千葉リハビリ テーションセン ター	242床（一般）	・全県対応型リハビリテーション連携 拠点病院

(2) 千葉県保健医療計画（平成23年4月改定）

ア 基準病床数

平成23年4月に改定された千葉県保健医療計画では、千葉保健医療圏の基準病床数7,794床に対して既存病床数が7,125床となり、669床の不足病床が発生しています。このため千葉県では不足病床の充足を目的に8月～9月に公募を実施しました。

イ 循環型地域医療連携システムにおける両病院の役割

千葉県保健医療計画における4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）、4事業（救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療）において、両病院では以下のとおりの役割を担っています。

① 青葉病院

4疾病では、肝がん・肺がん・大腸がん・胃がん・乳がん・子宮がん対応医療機関、緩和ケア診療、脳卒中对応医療機関、回復期リハビリ対応医療機関、急性心筋梗塞対応医療機関及び糖尿病専門医と連携して網膜症・神経症状・腎症・壊疽・壊死・歯周病を扱う医療機関として位置づけられています。

4事業では、2次救急医療機関、災害医療協力病院、分娩を取り扱う病院及び小児救急に対応する病院として位置づけられています。

② 海浜病院

4疾病では、肝がん・肺がん・大腸がん・胃がん・乳がん・子宮がん対応医療機関、緩和ケア診療、回復期リハビリ対応医療機関及び急性心筋梗塞対応医療機関として位置づけられています。

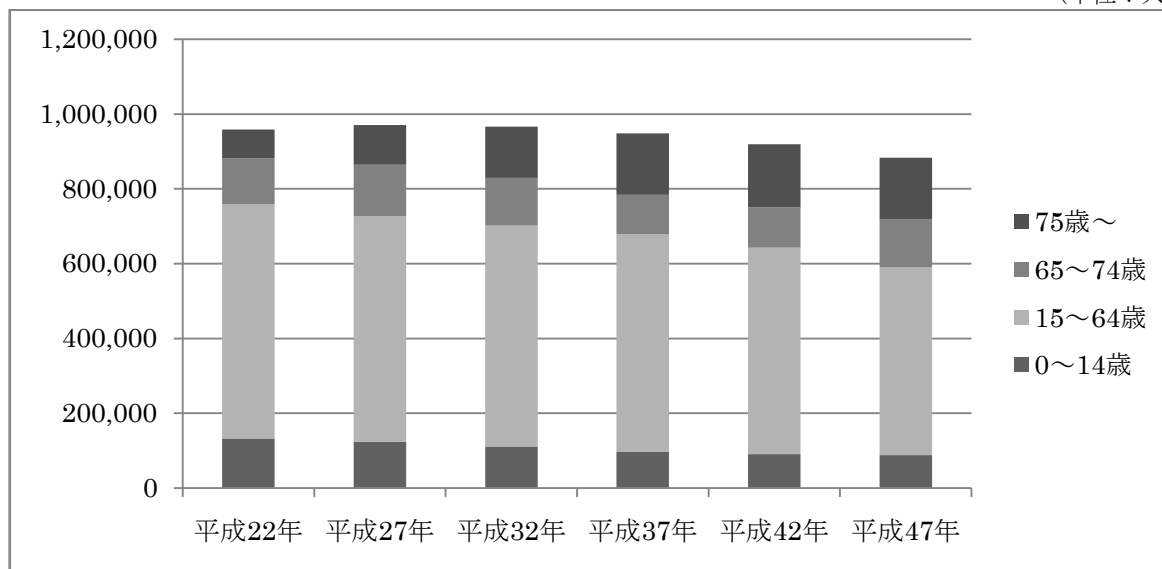
4事業では、2次救急医療機関、夜間初期救急診療医療機関、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター及び小児医療を実施する中核的な医療機関として位置づけられています。

(3) 千葉保健医療圏における医療需要の見通し

ア 千葉市将来人口推計

千葉市の将来人口推計¹によれば、総人口は平成27年をピークに減少に転じる予測ですが、65歳以上の高齢者人口に関しては一貫して増加傾向となっています。

(単位：人)

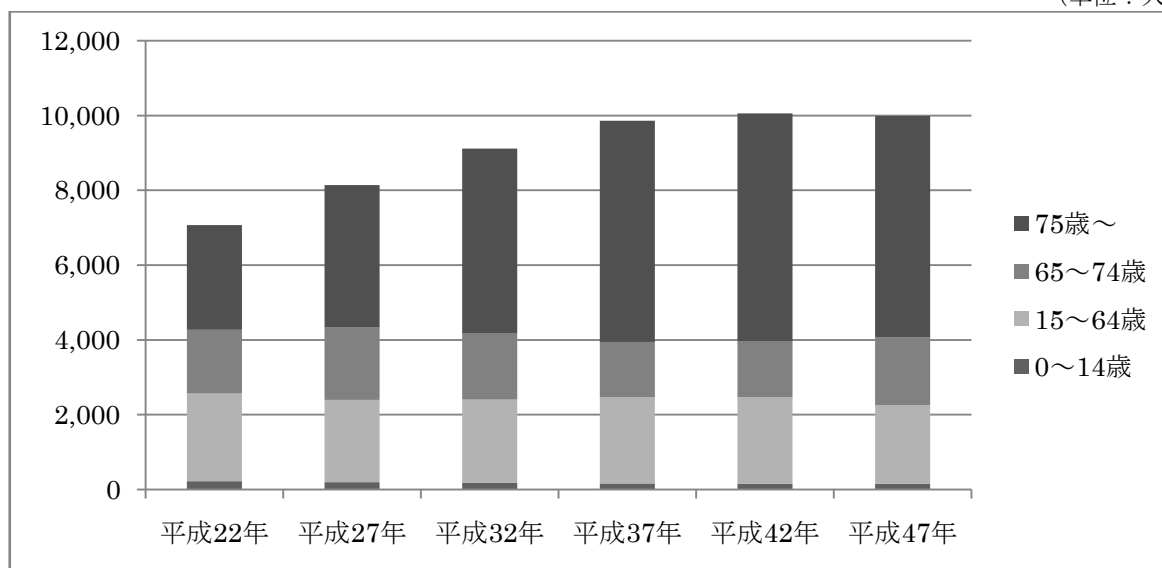


イ 千葉市将来入院患者推計

千葉市の将来人口推計と千葉県の年齢階層別受療率²を用いて将来入院患者数を推計すると、入院患者数は一貫して増加が見込まれています。

入院患者を年齢階層別にみると、小児の入院患者数は減少傾向にあるものの、75歳以上の患者は一貫して大幅な増加が見込まれています。

(単位：人)



¹ 千葉市人口動態等基礎調査報告書（平成21年2月）

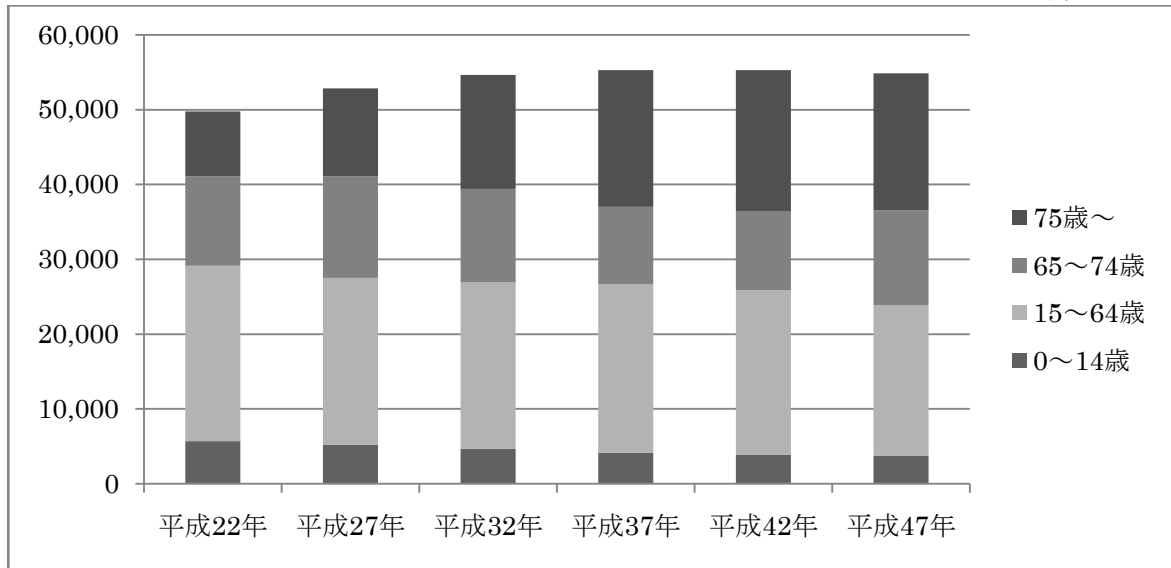
² 資料：平成20年患者調査（厚生労働省）

ウ 千葉市将来外来患者推計

千葉市の将来人口推計と千葉県の高齢者受療率を用いて将来外来患者数を推計すると、外来患者数は平成37年をピークに若干減少傾向にあります。

外来患者に関しては、高齢者は増加傾向があるものの、入院に比べると低い増加率となっています。

(単位：人)



エ 総括

このように、千葉保健医療圏の医療需要は、当面の間は医療需要の高い高齢者を中心に増加し続ける見込みとなっており、がんなどの悪性新生物への対応とともに、高齢者の受療率が相対的に高い、循環器、呼吸器及び運動器疾患への対応が求められています。